

太子橋今市駅

Osaka Metro まちさんぽ

40分 コース

谷町線・今里筋線 太子橋今市駅

淀川本流だった高瀬川

ぎょうき
行基が架けた橋や寺院の足跡を訪ねて

天平時代、ここに流れていた高瀬川に高僧・行基が橋を架け、高瀬寺を建立しました。高瀬川は遺跡が発見されてかなり大きな川だったことが分かり、淀川の本流だったとされています。古代から開けた淀川左岸の高瀬の里を歩きます。



スタート駅	約40分									ゴール駅
谷町線 今里筋線 太子橋今市駅 ①号出口	1 太子橋・今市	2 實悟僧都茶毘所舊址の碑	3 守居神社	4 清澤寺	5 高瀬寺	6 高瀬神社	7 高瀬川跡碑	8 常稱寺	9 長池町・馬場町遺跡 高瀬寺跡	太子橋今市駅 今里筋線 谷町線

平安時代の中頃、淀川が大洪水を起こしたとき、天の神から「我を祀れ」と神命が下り、それ以来、この地に淀川を護る土居を築いて、守護神を祀ってきました。以来、集落は土居の庄と呼ばれ、土居神社(現・守居神社)は淀川の守護神として篤く信仰されてきました。

太子橋今市駅
40分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線・今里筋線 太子橋今市駅

淀川本流だった高瀬川

行基が架けた橋や寺院の足跡を訪ねて

天平時代、ここに流れていた高瀬川に高僧・行基が橋を架け、高瀬寺を建立しました。高瀬川は遺跡が発見されてかなり大きな川だったことが分かり、淀川の本流だったとされています。古代から開けた淀川左岸の高瀬の里を歩きます。



谷町線・今里筋線太子橋今市駅 ①号出口

谷町線・今里筋線太子橋今市駅

1 太子橋・今市

聖徳太子は当初、このあたりに四天王寺建立を計画したのですが、洪水が頻発すると知って上町台地の現在地へ変更しました。この伝承からこの地は天王寺庄村と呼ばれ、明治の淀川改修工事で南北に分断されましたが、右岸は豊里、左岸は太子橋と、いずれも聖徳太子ゆかりの地名として残っています。また、今市は鎌倉時代から開けた今市村に由来した地名です。

2 實悟僧都茶毘所舊址の碑

實悟僧都は蓮如上人の十男として生まれ、河内国茨田郡に土居坊(現・清澤寺)を開創した僧侶です。93歳で没し、この墓所で茶毘(火葬)に付されたと伝えられています。



3 守居神社

社伝によると延喜18年(918)、淀川洪水のとき、川の淵で「我天道神也、我を祀れ」とお告げがあったので「土を居いて」お祀りしたのが始まりとされています。祭神は素戔鳴尊・賀茂別雷神で、淀川流域の守護神となり、地名を土居の庄と名づけて、かつては土居神社と称されていました。現在は守口の総氏神として、守口と土居の各一字をとって守居神社になりました。本殿は昭和に造営されたもので、境内の稲荷社が日本殿です。江戸時代からの狛犬、石灯籠があります。



4 清澤寺

蓮如上人の子息・實悟上人が永禄年間の始め(1560頃)に当地を訪れて当寺の荒廃を知り、尽力して再興し、土居坊と名づけました。以後、上人の姓・清澤から清澤寺と称されるようになりました。西方に實悟僧都茶毘所舊址の碑があります。



5 高瀬寺

浄土宗の寺院で、もとは釈迦寺とも称し、室町時代に建立されたものと考えられています。境内にある宝篋印塔の台座に「高瀬寺」と刻まれています。行基の高瀬寺とは異なるとされています。



6 高瀬神社

『延喜式神名帳』にある式内社で、聖武天皇の勅願で行基が高瀬川のほとりに天御中主命を鎮座したとされる古社です。行基は高瀬川に高瀬橋を架け、また高瀬神社の宮寺として高瀬寺を建立したとされています。高瀬とは浅瀬の意で、紀貫之の『土佐日記』にもここで船待ちをした記述があります。戦国時代の兵火で社殿は消失しましたが、江戸中期に現在の社殿が再建されました。



7 高瀬川跡碑

高瀬川には行基が高瀬橋を架け、高瀬橋の遺構と考えられる石柱が付近で出土しました。その規模から高瀬川は大きな川で、かつては淀川の本流だったと考えられています。古歌にもたびたび詠われて、平安時代には「高瀬の淀」、江戸時代には「守口川」とも呼ばれていました。



8 常稱寺

現在は浄土宗の寺院ですが、かつては高瀬常稱寺と称して高瀬寺の奥の院と伝えられています。天平年間に行基が開創した高瀬寺は七堂伽藍を備えた大寺院でしたが、度重なる戦火によって焼失し、再建を繰り返してきました。しかし、戦国時代の織田・三好の合戦で焼け落ちて以来再建されることはありませんでした。当寺には行基開創の高瀬寺の縁起が残されています。



9 高瀬寺跡 長池町・馬場町遺跡

このあたりから大正時代に奈良時代後期の複弁蓮華文軒丸瓦などが出土したことから、行基開祖の高瀬寺の存在が推定されています。その後の発掘調査では古墳時代の土師器や須恵器が出土し、また近接する長池町・馬場町遺跡からも古代から中世の土器や遺構が多数発掘されています。これらのことから淀川左岸に古くから文明が定着していたと考えられます。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2025年4月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro
協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp
後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。
<https://www.osaka-asobo.jp> または で検索

ご注意
※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。
ご案内
※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

毎月第1金曜日発行

駅スタンプ押印欄